

タイトル： 低価格 助け合い協同アパート

精神障がいや軽度知的障がいがある独身の方には、グループホーム・ケアホームが現在できてきています。結婚をして家族がいても、年老いた母や父のサポートを受けながら生活している人も多いと思います。今、テレビドラマで「ひとみ」がありますが、昔の長屋みたいなものが復活したら、家族単位でも入居者の仲間（家族）で助け合いをしながら楽しく生活できると思います。

そこで、私が考える「夢のアパート」を提案します。このアパートは、1部屋 3LDK・4LDKの間取りで、各々の部屋にはキッチンやお風呂場があります。1階は、福岡県 JR 大野城駅の向かい側にある障がい者生活支援センター「つくしびあ」を参考にし、生活支援施設を設置し、サポート職員や精神保健福祉士など職員さんがいて、相談もすることができます。また、協同食堂・協同風呂・コミュニティルーム（談話室）・協同庭園を設けて、助け合える楽しい空間をつくり、地域の人も利用可能とすることで交流が生まれます。

私の考える夢のアパートがあれば、入居者同士（家族）で助け合いながら楽しく過ごすことができ、離婚や子供の虐待も減ることが期待されます。

夢のアパート

